

2018 年学術委員会企画シンポジウムと第 6 回学術研究優秀賞

第 33 回日本脊髄外科学会での学術委員会企画シンポジウムは、これまでと同様に、基礎研究に関する教育講演と、公募演題によるシンポジウムの二部形式で開催します。本シンポジウムは、脊椎・脊髄の基礎研究の普及と推進を目的としています。

教育講演は、臨床研究の方法と倫理審査に関する今後の課題についてのお話を予定しています。これは、平成 27 年 2 月に人を対象とする医学系研究に関する倫理指針が厚労省から発表され、今後、学会演題に関しても施設内倫理審査委員会（IRB）での審査が必要になる可能性があるためです。日本脊髄外科学会でも、今後の臨床研究や臨床症例を使用する基礎研究のあり方、今後の行方に関して正しい知識の習得が必要と考え、企画しました。教育講演の講師の先生は、三重大学医学部附属病院臨床研究開発センター教授の西川政勝先生です。また、厚生労働省医政局の担当課長の先生からも臨床研究の倫理指針に関するご講演をいただく予定です。大変重要な教育講演になると思われます。

シンポジウム演題は、一般応募演題から選出した基礎研究の発表となります。シンポジウム演題の募集は、純粋な基礎研究に限らず、次のように臨床に関連したものを含めて募集いたします。

- 1) 脊髄損傷の病態生理と新たな治療手段
- 2) 脊髄疾患に対する移植治療
- 3) 神経再生に関する基礎研究
- 4) 脊椎脊髄の画像解析
- 5) 新しい手術支援機器の開発
- 6) 新しい脊髄機能モニタリング方法
- 7) 脊髄機能の臨床生理
- 8) 髄液循環と脊椎脊髄
- 9) 末梢神経の再生に関する基礎研究
- 10) 脊椎・脊髄・末梢神経の微小解剖
- 11) 脊椎脊髄疾患の遺伝子解析
- 12) その他

また、基礎研究では、既に当学会で発表されたテーマでも、新たな知見が得られた場合には、その後のup-dateとしての発表でもかまいません。

応募いただいた演題は、学術委員会によって抄録を厳正に審査して、シンポジウム演題を数題決定いたします。シンポジウムに選出された演題は、さらに最優秀の発表を当日、審査によって決定し、第6回学術研究優秀賞として、副賞（10万円）とともに表彰いたします。会員の皆様、こぞって応募をよろしくお願いいたします。

日本脊髄外科学会 学術委員会
委員長 小柳 泉